

<2010—2011年度>

第1回

キャビネット会議 資料集 【1】



2010年7月26日（月）

東京プリンスホテル 2階「プロビデンス」

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区

2010～2011年度 リジョン・チェアパーソン名簿

R		会員氏名	カタカナ	所属クラブ
1 R	※	岩城 正明	イワキ マサアキ	東京千代田
2 R		石丸 忠男	イシマル タダオ	東京晴海
3 R	※	鈴木 廣行	スズキ ヒロユキ	東京三田
4 R		新田目 和勇	アラタメ カズオ	東京墨東
5 R		仁平 悦郎	ニヒラ エツオ	東京西新井
6 R		小泉 和央	コイズミ カズヒサ	東京上野東
7 R		小島 久夫	コジマ ヒサオ	東京練馬
8 R		芦田 公	アシダ タダシ	東京豊島
9 R	※	田中 久雄	タナカ ヒサオ	東京五反田
10 R		関 真一郎	セキ シンイチロウ	東京田園調布
11 R		竹本 裕美	タケモト ヒロミ	東京新宿東
12 R	※	向井 忠義	ムカイ タダヨシ	東京三鷹
13 R		塩月 藤太郎	シオツキ トウタロウ	東京田無
14 R		神田 幸雄	カンダ ユキオ	東京羽村

2010～2011年度 ゾーン・チェアパーソン名簿

R-Z		会員氏名	カタカナ	所属クラブ
1 R-1 Z		木場 芳紀	コバ ヨシキ	東京
1 R-2 Z		春日井 弘	カスガイ ヒロシ	東京紀尾井町
1 R-3 Z		高橋 芳子	タカハシ ヨシコ	東京みやこ
2 R-1 Z		柴田 隆至	シバタ タカシ	東京日本橋
2 R-2 Z	※	戸部 研一	トベ ケンイチ	東京数寄屋橋
3 R-1 Z		福田 守弘	フクダ モリヒロ	東京芝
3 R-2 Z		天間 勝治	テンマ カツジ	東京虎ノ門
3 R-3 Z		岡 治彦	オカ ハルヒコ	東京六本木
4 R-1 Z		毛塚 利雄	ケヅカ トシオ	東京本所
4 R-2 Z	※	三輪 正雄	ミワ マサオ	東京城東
4 R-3 Z		須山 秀一	スヤマ シュウイチ	東京セントポール
5 R-1 Z		山野 雅彦	ヤマノ マサヒコ	東京綾瀬
5 R-2 Z	※	蓮沼 建治	ハスヌマ ケンジ	東京江戸川南
5 R-3 Z		関口 兼司	セキグチ ケンジ	東京城北
6 R-1 Z		奥田 智康	オクダ トモヤス	東京鳥越
6 R-2 Z		北條 章宏	ホウジョウ アキヒロ	東京上野
7 R-1 Z		古澤 総一	フルサワ ソウイチ	東京北
7 R-2 Z		篠 順三	シノ ジュンゾウ	東京けやき
7 R-3 Z		山田 順子	ヤマダ ジュンコ	東京すずしろ
8 R-1 Z		秋元 政江	アキモト マサエ	東京池袋
8 R-2 Z		大塚 公彦	オオツカ キミヒコ	東京セイシン
9 R-1 Z		東 信義	アツ” マ ノブヨシ	東京品川
9 R-2 Z		谷山 光俊	タニヤマ ミツトシ	東京ウエスト
10 R-1 Z		柳屋 隆	ヤナギヤ タカシ	東京渋谷
10 R-2 Z		沼田 卓一	ヌマタ タクイチ	東京神宮前
10 R-3 Z		河津 延樹	カワツ ノブキ	東京自由が丘
11 R-1 Z		谷下 勝利	タニシタ カツトシ	東京スバル
11 R-2 Z	※	佐々木 洋文	ササキ ヒロブミ	東京中野
11 R-3 Z		坂本 道昭	サカモト ミチアキ	東京早稲田
12 R-1 Z		中浜 亮介	ナカハマ リョウスケ	東京武蔵野
12 R-2 Z		塚田 忠次郎	ツカダ チュウジロウ	稲城
13 R-1 Z	※	宮澤 公廣	ミヤザワ キミヒロ	東京立川
13 R-2 Z		村野 成美	ムラノ ヨシミ	東久留米
14 R-1 Z		太田 正利	オオタ マサトシ	東京桑都
14 R-2 Z		渡邊 肇	ワタナベ ハジメ	東京福生

2010～2011年度
ライオンズクラブ国際協会 公認プロトコール

1. 国際会長
2. 前国際会長
3. 国際副会長（地位の順）
4. 国際理事（国際理事会アポインティ）
5. 元国際会長
6. 元国際理事
7. 複合地区協議会議長
8. 地区ガバナー
9. 国際協会国際本部長
10. 国際協会幹事
11. 国際協会会計
12. 元協議会議長
13. 前地区ガバナー
14. 第1副地区ガバナー
15. 第2副地区ガバナー
16. 元地区ガバナー
17. 複合地区協議会幹事
18. 複合地区協議会会計
19. キャビネット幹事
20. キャビネット会計
複合地区委員長・複合地区監査委員・
複合地区副委員長・複合地区委員
21. リジョン・チェアパーソン
22. ゾーン・チェアパーソン
23. 地区委員長・地区監査委員・地区キャビネット副幹事・
地区副委員長・地区委員
24. クラブ会長
25. 前クラブ会長
26. クラブ副会長
クラブ幹事
27. クラブ会計
28. 元クラブ会長
29. 複合地区事務局長
30. 複合地区事務員

[注] 2009年3月ニューヨーク国際理事会で改訂されたプロトコール

2010～2011年度 330-A地区レベルにおける
地区年次大会、周年行事、チャーターナイト、公式訪問等のプロトコール

1. 地区ガバナー
2. 国際理事
3. 元国際理事
4. 名誉顧問会議長・LCIFコーディネーター（330 複合地区内）
5. 国際協会モンゴル・コーディネーター
6. 前地区ガバナー
7. 第1副地区ガバナー
8. 第2副地区ガバナー
9. 元地区ガバナー
10. キャビネット幹事
11. キャビネット会計
12. 複合地区役員
13. リジョン・チェアパーソン
14. ゾーン・チェアパーソン
15. 地区委員会委員長・会計監査
16. キャビネット事務局長
17. キャビネット副幹事
18. キャビネット副会計
19. 地区委員会副委員長・委員
20. スペシャルアドバイザー

2010～2011年度 ライオンズクラブ国際協会330-A地区
各委員会 諮問事項・活動の指針

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区
ガバナー 河合悦子

1. 政策・計画委員会

- ・地区年間計画の策定
- ・地区運営活性化に関する研究
- ・各種事業計画の推進・支援
- ・選挙制度の検討
- ・アワード表彰規定の見直し（種類・申請規定・選定基準検討）

2. 会則・会員委員会

- ・選挙規定の見直し
- ・各種会員制度の活用
- ・家族会員制度の活性化について（330-Aにおけるスタンダードの作成）
- ・クラブ例会、アクティビティの情報交換および活性化の可能性について

3. 会員増強・エクステンション・リテンション委員会

- ・エクステンションに関する現状把握と可能性の模索
- ・退会防止に関する提案
- ・少数会員クラブの再生（再生へのロードマップ）への施策
- ・活発な活動をおこなっているクラブの紹介（PR委員会との連携）
- ・会員増強へ向けての数値目標

4. 指導力・若手育成委員会

- ・若手育成についての具体的方策
- ・リーダーシップ研究会開催
- ・若手会員活躍可能な環境の設営
- ・国際的な会合へ積極的参加を促す機会の提供

5. IT委員会

- ・地区におけるIT化促進に向けた施策
- ・キャビネット・ホームページ活用について（情報の利用状況と問題点の検証）
- ・eMMR-サバンナの実効的検証（eMMR-サバンナ教室の徹底）
- ・クラブ情報の取材、収集
- ・準地区、複合地区、他地区の情報の共有化の促進
- ・キャビネット会議、年次大会等各会議のIT化
- ・eMMR-サバンナ運用規定の作成

6. PR・情報委員会

- ・地区ニュースの発行（6回）とコンテンツの検討
- ・地区ニュースの有効的活用
- ・ライオン誌との同封について
- ・地区メンバー意識調査アンケートの調査
- ・会員名簿の作成

7. 青少年育成・ライオンズクエスト委員会

- ・ライオンズクエスト活動の実態把握と周知への方策
- ・他地区との連携について
- ・各クラブの青少年健全育成に向けた継続事業の連携支援
- ・読書感想文コンクール開催企画

8. 薬物乱用防止委員会

- ・薬物乱用防止教育ゴールド認定講師連絡会との関係について
- ・ゴールド認定講師の養成と認定講師講習会開催について
- ・薬物乱用防止啓発活動支援のための協賛金拠出の件（1クラブ10,000円）
- ・国（警察庁）との連携について（複合地区との連携調整および麻薬覚醒材乱用防止センターとの連携他）

9. YE委員会

- ・YE活動の実態検証及び改革について
- ・YE活動の周知、理解のための方策
- ・各種行事への周知と参加要請
- ・派遣学生追跡調査（システムの改善点等）
- ・YEレポートの見直し

10. 女性参画・家族会員推進委員会

- ・女性会員および家族会員の实態把握
- ・女性会員増強への具体策
- ・家族会員推進に向けての広報活動

11. LCIF委員会

- ・LCIFの現状の把握
- ・わかりやすいLCIF（献金、交付金申請に関する理解を深める）への活動
- ・周年行事における記念事業等での交付金活用への奨励

12. 国際関係・モンゴル支援委員会

- ・各クラブにおける国際関係団体との連携・支援・協力の現状把握について
- ・モンゴルのライオンズクラブ実態の把握
- ・モンゴル祭りへの支援

- 1 3. 難病対策支援特別委員会
 - ・国が認定する難病と一般市民が認識する難病についての理解への働きかけ
 - ・小児ガン他、激増傾向にある癌に対する各方面の征圧活動実態の把握と支援
 - ・難病対策支援『フォーラム&チャリティコンサート』の開催について

- 1 4. 社会・障害者福祉委員会
 - ・地域関連施設との連携模索（福祉協議会等との連携）
 - ・東京都障害者福祉スポーツ大会の再認識と参加奨励

- 1 5. 高齢者福祉委員会
 - ・高齢者福祉の現状と現在の動向の踏査
 - ・高齢者福祉施設と連携クラブの紹介、奨励について

- 1 6. 献眼・献腎委員会
 - ・啓蒙活動実態の調査と今後の対応
 - ・献眼登録と登録意志の現状確認について
 - ・盲導犬育成に向けてのアクティビティの認識

- 1 7. 献血・骨髄移植推進委員会
 - ・啓蒙活動の実態把握と今後の対応について
 - ・骨髄移植ドナー登録の推進活動
 - ・ライオンズクラブ活動の柱として長年の歴史を持つ献血活動への再認識

- 1 8. 環境保全委員会
 - ・環境憲章の確認と広報
 - ・各クラブの環境保全への取り組み、アクティビティの把握と紹介について
 - ・セミナー開催に関しての新たな企画の立案
 - ・長期的取り組みの指針策定について

- 1 9. 緊急対策支援委員会
 - ・緊急対策支援活動の現況把握
 - ・特別救急救命技能の取得推進
 - ・災害緊急への対応（クラブ、ゾーン、リジョン、準地区、複合地区、全日本各レベル）について

- 2 0. 国際理事委員会
 - ・国際理事支援現状の把握について
 - ・国際理事の役割把握とホスト地区としての支援活動

- 2 1. 大会参加委員会
 - ・国際大会参加推進・決議権の行使について
 - ・OSEALフォーラムおよび国際大会（シアトル）への積極的参加促進

22. 第57回年次大会委員会

- ・第57回年次大会前のアンケート実施について
- ・大会運営要綱の作成

23. 組織連携・ライオンズカード委員会

- ・一般社団法人330-A地区支援会との連携について
- ・ライオンズカード活用促進への具体策考案

24. 綱紀指導委員会

- ・ライオンズクラブ会員としての綱紀指導を行う
- ・各メンバー間の綱紀基準作り
- ・クラブにおいての紛争、トラブル等に関する助言

25. MERL委員会

- ・国際協会において、再構築プログラムを考案中
- ・現時点では従来のプログラムを継続

2010～2011年度 各委員会 委員長名簿

委員会名		会員氏名	カタカナ	所属クラブ
政策・計画委員会		橋口 啓一	ハシグチ ケイイチ	東京葵
会則・会員委員会		池田 和司	イケダ コウジ	東京桜門
会員増強・エクステンション・リテンション委員会	※	長井 隆充	ナガイ タカミツ	東京ワンハンドレッド
指導力・若手育成委員会	※	見津 康	ミツ ヤスシ	東京飯田橋
I T委員会		佐原 幸雄	サハラ ユキオ	東京みやこ
P R・情報委員会		山本 康弘	ヤマモト ヤスヒロ	東京世田谷
青少年育成・ライオンズゲスト委員会		平岩 宏司	ヒライワ コウジ	東京荒川西
薬物乱用防止委員会		桐井 義則	キリイ ヨシノリ	東京江戸川東
Y E委員会		三宅 泰雄	ミヤケ ヤスオ	東京浜松町
女性参画・家族会員推進委員会		片岡 洋乃	カタオカ ヨシノ	東京神楽坂
L C I F委員会		田倉 仁	タクラ ヒトシ	東京八王子高尾
国際関係・モンゴル支援委員会		水谷 力	ミズタニ チカラ	東京三軒茶屋
難病対策支援特別委員会	※	村木 秀之	ムラキ ヒデユキ	東京数寄屋橋
社会・障害者福祉委員会	※	秋富 一美	アキトミ カズミ	東京GAIA
高齢者福祉委員会		中迎 譲司	ナカムカエ ジョウジ	東京有楽町
献眼・献腎委員会		黒田 幹雄	クロダ ミキオ	東京虎ノ門
献血・骨髄移植推進委員会		渋谷 俊徳	シブヤ トシノリ	東京新都心
環境保全委員会		吉田 宗一郎	ヨシダ ソウイチロウ	東京武蔵野
緊急対策支援委員会		高橋 芳久	タカハシ ヨシヒサ	東京江戸川中央
国際理事委員会		竹内 博	タケウチ ヒロシ	東京蒲田
国際大会委員会		野口 正二郎	ノグチ ショウジロウ	東京文京
第57回年次大会委員会	※	野村 栄樹	ノムラ エイジュ	東京飯田橋
組織連携・ライオンズカード委員会		脇村 孝友	ワキムラ タカトモ	東京晴海
綱紀指導委員会		海渡 一智	カイト カズトモ	東京みやこ
M E R L委員会		大石 誠	オオイシ マコト	東京数寄屋橋

※印は世話人です

2010年7月2日

ライオンズクラブ国際協会
複合地区ガバナー協議会議長 各位

ライオンズクラブ国際協会
2010-2011年度議長連絡会 代表世話人
(337複合地区ガバナー協議会議長)
L増田 十郎

宮崎県口蹄疫災害義援金支援のお願い

初夏の候、皆様には益々ご健勝にて、ライオニズムの高揚にご精進の事とお慶び申し上げます。

さて、この度、2010年4月20日に発生しました宮崎県口蹄疫災害は、感染、感染疑いによる殺処分対象頭数は27万6000頭という未曾有の被害をもたらしました。また、非常事態宣言により、多数の県内イベント、ライオンズクラブの行事等も延期、または中止となり、畜産農家だけではなく、県民の生活、県内経済への影響が深刻化し、大きな打撃を及ぼしております。7月1日、非常事態宣言は一部解除されたものの、殺処分の対象となった畜産農家の無念さや将来への不安は、想像を超えるものだと推察されます。

その中、正式に全国のライオンズクラブ、クラブ員の皆様にもご支援をお願いすべく、複合地区ガバナー協議会議長連絡会にて、皆様のご賛同を頂きまして、誠に有難く束心より厚く御礼を申し上げます。

何卒、皆様方のご協力を頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、義援金の送金につきましては、下記口座を開設致しております。

敬具

記

宮崎銀行 昭和町支店
普通預金 77398
337-B地区 災害支援金
会計 池田 英雄 宛

We Serve



ライオンズクラブ国際協会 330 複合地区
ガバナー協議会事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-12-9 日本橋グレイスビル 2F
TEL03-3276-5400 FAX 03-3276-5433
E-Mail lions330@poem.ocn.ne.jp

2010年7月5日

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区ガバナー 河合悦子様
330-B地区ガバナー 金子圭賢様
330-C地区ガバナー 大野元裕様

ライオンズクラブ国際協会
2010-2011年度330複合地区ガバナー協議会
議長 L桜井孝一

シドニー国際大会もつつがなく閉会し、330複合地区ガバナー協議会の皆様方におかれましては、大変ご苦勞様でした。いよいよ新年度が始まりましたが、これより1年間、ガバナー協議会の皆様方と共に330複合地区のすべての会員の為に、そして8複合の信頼と協調を図り日本ライオンズの一員として身を粉にして奮起する所存でありますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、2010年4月20日に発生しました宮崎県口蹄疫災害は、感染・疑いによる殺処分対象頭数27万6000頭に及ぶと言う未曾有の被害を受け、畜産農家のみならず、宮崎県民の生活・県内経済への深刻な影響を及ぼすものとなっております。そこで2010年7月2日付、ライオンズクラブ国際協会2010-2011年度議長連絡会 増田十郎(337複合地区ガバナー協議会議長)代表世話人より各複合地区ガバナー協議会議長あてに「宮崎県口蹄疫災害義捐金支援のお願い」が発信されました。

330複合地区としましても早速の援助体制をとるためには、と苦慮した結果：

各準地区6月末日の会員数×100円を取り纏めて頂くか、各準地区の緊急援助金から、2010年7月末日までに330複合地区ガバナー協議会事務局にご送金をいただけましたら幸甚です。

期当初で大変お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、各準地区でのご協力ご支援を切に賜りたくお願いする次第です。

<振込先>

振込先銀行名：みずほ銀行 京橋支店(店番号024)

振込先口座番号：普通預金2067444

振込先口座：ライオンズクラブ国際協会330複合地区ガバナー協議会

緊急対策基金 議長桜井孝一

※口座代表者名は、引継会議(7月12日(月))後、速やかに変更いたします。

2010～2011年度 キャビネット幹事団名簿

◎ 主担当委員会 △サブ担当委員会

役職名	L氏名	フリガナ	クラブ名	担当R	委員会窓口
ガバナー	河合 悦子	カワイ エツコ	東京みやこ 1R-3Z	-	
キャビネット幹事	近藤 正彦	コンドウ マサヒコ	東京八王子陵東 14R-1Z	-	
キャビネット会計	吉田 實	ヨシダ ミノル	東京文京 8R-2Z	-	
キャビネット事務局長	織本 真一郎	オリモト シンイチロウ	東京豊島 8R-1Z	-	
キャビネット副幹事	坪谷 茂	ツボヤ シゲル	東京葵 1R-3Z	1R	◎指導力・若手育成委員会 ◎難病対策支援特別委員会 △社会・障害者福祉委員会
キャビネット副幹事	伊藤 弘美	イトウ ヒロミ	東京ウイル 7R-3Z	2R	◎社会障害者福祉委員会 △PR・情報 委員会 △高齢者福祉 委員会
キャビネット副幹事	井口 修一	イグチ シュウイチ	東京高輪 3R-1Z	3R	◎献眼・献腎委員会 △政策・計画委員会 △環境保全委員会
キャビネット副幹事	岩田 守弘	イワタ モリヒロ	東京セントポール 4R-3Z	4R	◎政策・計画委員会 △指導力・若手育成委員会 △組織連携・ライオンズカード委員会
キャビネット副幹事	茅島 純一	カヤシマ ジュンイチ	東京江戸川東 5R-2Z	5R	◎IT委員会 ◎LCIF委員会 △薬物乱用防止委員会, YE委員会
キャビネット副幹事	関 博方	セキ ヒロカタ	東京鶯谷 6R-2Z	6R	◎薬物乱用防止委員会 ◎高齢者福祉委員会 △第57回年次大会委員会
キャビネット副幹事	久保田 明雄	クボタ アキオ	東京赤羽 7R-1Z	7R	◎献血・骨髄移植推進委員会 ◎国際理事委員会 △青少年育成・ライオンズクエスト委員会 △国際大会委員会
キャビネット副幹事	赤尾 嘉晃	アカオ ヨシアキ	東京豊新 8R-1Z	8R	◎会員・会則委員会 ◎緊急対策委員会 △IT委員会
キャビネット副幹事	奈須野 慎二	ナスノ シンジ	東京大森 9R-1Z	9R	◎青少年育成・ライオンズクエスト委員会 ◎女性参画推進・家族会員委員会 △難病対策支援特別委員会 △国際理事委員会
キャビネット副幹事	大原 紘子	オオハラ ヒロコ	東京玉川 10R-3Z	10R	◎会員増強・エクステンション・リテンション委員会 △女性参画推進・家族会員委員会 △緊急対策委員会
キャビネット副幹事	金澤 喜章	カナザワ ヨシアキ	東京21世紀 11R-1Z	11R	◎第57回年次大会委員会 △会員増強・エクステンション・リテンション委員会 △献血・骨髄移植推進委員会
キャビネット副幹事	河田 弘昭	カワダ ヒロアキ	東京吉祥寺 12R-1Z	12R	◎PR・情報委員会 ◎YE委員会 △LCIF委員会
キャビネット副幹事	小林 正治	コバヤシ マサハル	東京立川 13R-1Z	13R	◎環境保全委員会 ◎組織連携・ライオンズカード委員会 △献眼・献腎 委員会
キャビネット副幹事	増田 克哉	マサダ カツヤ	東京八王子高尾 14R-1Z	14R	◎国際大会委員会 △献眼・献腎委員会 △国際理事委員会
キャビネット副会計	渡辺 豊	ワタナベ ユタカ	東京新都心 11R-1Z	-	◎国際関係・モンゴル支援委員会 ◎綱紀指導委員会 ◎MERL委員会

1. 「330-A地区キャビネット役員」のメイク・アップに関する件

地区キャビネット役員各位には、所属クラブの例会出席を原則としていただきますが、貴クラブの例会日にキャビネット関係行事出席のために、やむなく欠席した場合、もしくは当日他の理由で欠席したが、前後13日間にキャビネット関係行事に出席した場合はメイク・アップ規則に該当し、例会出席したものとみなしていただく。

2. 各クラブ公式行事にキャビネット役員が出席する際の諸費用に関する 統一見解の件

御 祝 金

行事内容	地区ガバナー 第1副地区ガバナー 第2副地区ガバナー	キャビネット 幹事・会計 R担当副幹事(副会計)	キャビネット 役員・委員
公 式 訪 問	な し	な し	
結 成 会	な し	な し	登録料相当とする
チャーター・ナイト	登録料相当とする (上限：15,000円)	登録料相当とする (上限：15,000円)	登録料相当とする
周年行事、 その他クラブ独自の 行事について	登録料相当とする (上限：15,000円)	登録料相当とする (上限：15,000円)	登録料相当とする

収支予算書

2010年7月1日～2011年6月30日

ライオンズクラブ国際協会330-A地区
(単位:円)

勘定科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I.事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
①地区会費	32,976,000	34,763,520	△ 1,787,520	
正会員	27,072,000	28,592,640	△ 1,520,640	480円×4,700名×12ヶ月
家族会員	1,152,000	1,370,880	△ 218,880	240円×400名×12ヶ月
クラブ割	4,752,000	4,800,000	△ 48,000	2,000円×198C×12ヶ月
②地区特別運営費	11,760,000	12,484,800	△ 724,800	
正会員	11,280,000	11,913,600	△ 633,600	200円×4,700名×12ヶ月
家族会員	480,000	571,200	△ 91,200	100円×400名×12ヶ月
③交付金	500,000	500,000	0	
国際本部交付金	500,000	500,000	0	
④諸収入	10,538,000	6,965,000	3,573,000	
各種登録料 (主にCBN会議)	9,520,000	6,950,000	2,570,000	第1、4、臨時3,000円×400名×3 第2、3回3,000円× 100名×2 第1、4懇親会7,000円×380名×2
他会計振替額	1,000,000	0	1,000,000	各特別会計収支差額振替合計額
預金利子	8,000	10,000	△ 2,000	普通預金利率0.04%
雑収入	10,000	5,000	5,000	
事業活動収入計	55,774,000	54,713,320	1,060,680	
2.事業活動支出			0	
①ガバナー運営費	6,700,000	7,600,000	△ 900,000	
ガバナー費	1,700,000	2,100,000	△ 400,000	周年行事15,000円×3名×30/40C+予備
贈呈費	3,000,000	4,000,000	△ 1,000,000	バナー1,000円×900個・胸章1,300円×400個 手帳900円×700個・バッチ340円×1,000個・ アワード用バッチ950円×300個+予備
弔意表敬費	100,000	100,000	0	
複合地区等関係費	100,000	100,000	0	
国際協会関係費	1,600,000	1,100,000	500,000	
OSEALFORUMU関係費	200,000	200,000	0	
②会議等運営費	18,000,000	15,000,000	3,000,000	
キャビネット会議費	10,000,000	7,000,000	3,000,000	CBN会議他含
委員会活動費	1,000,000	2,600,000	△ 1,600,000	
PR情報活動費	6,000,000	3,000,000	3,000,000	名簿作成費含
IT・HP関係費	1,000,000	2,400,000	△ 1,400,000	
会計処理調査費	0	0	0	
③事務局管理費	30,380,000	28,715,000	1,665,000	
事務局員給与	15,000,000	12,000,000	3,000,000	7月より1名増員
法定福利費	2,120,000	1,400,000	720,000	同上
福利厚生費	100,000	95,000	5,000	同上
交通費	600,000	500,000	100,000	同上
通信費	800,000	750,000	50,000	
印刷費	3,000,000	3,600,000	△ 600,000	コピーカウンティング料金含
事務消耗品費	600,000	800,000	△ 200,000	
備品購入費	200,000	1,200,000	△ 1,000,000	会計ソフト保守料他
運賃・発送費	1,000,000	1,200,000	△ 200,000	
OA機器費	1,200,000	1,200,000	0	複写機3台リース料金
家賃	4,800,000	4,800,000	0	
営繕・清掃費	160,000	160,000	0	
水道光熱費	600,000	600,000	0	
雑費	200,000	410,000	△ 210,000	
事業活動支出計	55,080,000	51,315,000	3,765,000	
事業活動収支差額	694,000	3,398,320	△ 2,704,320	
II.投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2.投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III.予備費支出	694,000	3,398,320	△ 2,704,320	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額		25,067,429		
次期繰越収支差額		25,067,429		

2009～2010 年度 330-A 地区第 56 回年次大会決議報告

2010 年 4 月 24 日（土）東京プリンスホテル

1. 代議員総会議案 決議報告

1. 2010～2011 年度 330-A 地区ガバナー選出の件

*2009～2010 年度第 56 回年次大会議事規則 10 項(1)の（エ）により別の方法
拍手による選出を議長より提案され、拍手多数で承認される。

*池田指名選挙委員長より L 河合悦子次期地区ガバナー指名、議長より承認要請
拍手多数で承認

ガバナーエレクト L 河合悦子 賛成多数承認

2. 2010～2011 年度 330-A 地区第 1 副地区ガバナー選出の件

*2009～2010 年度第 56 回年次大会議事規則 10 項(2)の（エ）により別の方法
拍手による選出を議長より提案され、拍手多数で承認される。

*池田指名選挙委員長より L 大石誠次期第 1 副地区ガバナー指名、議長より承認要請
拍手多数で承認

第 1 副地区ガバナーエレクト L 大石 誠 賛成多数承認

3. 2010～2011 年度 330-A 地区第 2 副地区ガバナー選出の件

*2009～2010 年度第 56 回年次大会議事規則 10 項(3)の（カ）により別の方法
拍手による選出を議長より提案され、拍手多数で承認される。

*池田指名選挙委員長より L 阿久津隆文次期第 2 地区ガバナー指名、議長より承認要
請、拍手多数で承認

第 2 副地区ガバナーエレクト L 阿久津隆文 賛成多数承認

2. 次期 330-A 地区年次大会開催地及びホストクラブ発表

*開催地は東京 ホストは第 1 リジョン内クラブ

3. 分科会議案及びシンポジウム報告

☆再開代議員総会で拍手多数で各分科会審議報告について一括承認される。

政策・会則分科会

代議員 70 名 ホスト 2 名

1. 「ライオンズクラブ 330-A 地区経理規定改定」の件

第 1 章 総則 第 7 条

継続審議とする。

第 6 章 第 23 条 改廃

継続審議とする。

2. 「330-A 地区年次大会における次期地区ガバナー、次期第 1 副地区ガバナー、次期 第 2 副地区ガバナー選出方法について」

継続審議とする。

長期計画分科会

代議員 39 名 ホスト 1 名

1. シンポジウム・テーマ 「キャビネット運営継続指針について」

*長期計画委員会の答申内容に基づき、キャビネット事務局、地区分割、キャビネ

ット運営の将来的問題、地区ガバナー選挙について熱心な討議が行われた。

経理分科会

代議員 42 名

1. 2009～2010 年度 330-A 地区上半期会計報告承認の件（議案集 P 39～P 56 掲載）
42 名全員賛成で承認
2. 2008～2009 年度 330-A 地区会計報告承認の件（議案集 P 57～P 78 掲載）
42 名中 36 名賛成で承認
3. 2010～2011 年度 330-A 地区クラブ費 1 クラブ 1 ヶ月 2,000 円抛出の件
議案集間違い訂正 1 クラブ 1 ヶ月 2,000 円 42 名中 40 名賛成で承認
4. 2010～2011 年度 330-A 地区費 1 メンバー1 ヶ月 480 円
家族会員 1 メンバー1 ヶ月 240 円抛出の件 42 名中 40 名賛成で承認
5. 2010～2011 年度 330-A 地区特別運営費 1 メンバー1 ヶ月 200 円
家族会員 1 メンバー1 ヶ月 100 円抛出の件 42 名中 40 名賛成で承認
6. 2010～2011 年度 330-A 地区大会費 1 メンバー1 ヶ月 100 円抛出の件
42 名中 40 名賛成で承認
7. 2010～2011 年度 330-A 地区特別大会費 1 メンバー1 ヶ月 50 円抛出の件
42 名中 40 名賛成で承認

会員関係分科会

代議員 44 名 ホスト 3 名

1. シンポジウム・テーマ 「各種会員制度の活用について」
*将来に向かって更に改善すべき点も多く、関係委員会に対し、より建設的な具体策が求められた。
2. シンポジウム・テーマ 「退会防止について」
*各クラブが直面しているテーマであり、アンケートの現状を踏まえアクティビティの在り方が討議された。

広報関係分科会

代議員 41 名 ホスト 2 名

1. 「2010～2011 年度 330-A 地区アクティビティ・スローガン決定」の件
「情熱と行動、社会に灯そう奉仕のあかり」 賛成多数承認
2. シンポジウム・テーマ 「地区ニュース活用について」
*担当副委員長より説明があり、代議員より現状を評価する旨の意見がだされた。
3. シンポジウム・テーマ 「キャビネット・ホームページ活用について」
*ホームページのパスワードや全体の予算等について提案があり、引き続き検討をすることになりました。

国際関係分科会

代議員 37 名 ホスト 1 名

1. シンポジウム・テーマ 「国際大会参加推進・決議権行使について」
*山浦国際理事を選出する大事な大会となるので、各クラブより 1 名以上の代議員参加をお願いしたい。
2. シンポジウム・テーマ 「国際支援・協力について」
*5 月 2 日・3 日モンゴル春の祭りが練馬、光が丘公園にて開催されるので、参加してください。
3. シンポジウム・テーマ 「LCIF 基金導入及び献金形態の改善について」

- *1人20ドル献金は約三分の二のクラブ協力があり、直接送金を合わせると90%達成
*カード等での1,000ドル献金された場合はキャビネット事務局に連絡下さい。

組織連携分科会

代議員 33名 ホスト 2名

1. シンポジウム・テーマ 「ライオンズ・カード活用について」
*ライオンズカードのメリットが多くあるので、もっとPRが必要です。
*キャビネット指導により、クラブ例会等の決済を推進する事が望まれる。

環境関係分科会

代議員 48名

1. 「330-A 地区は、地球環境保全・温暖化防止アクティビティについて
長期重点奉仕事業とする」件 賛成多数で承認
2. シンポジウム・テーマ 「上級救命技能取得について」
*上級救命技能講習は、今後各クラブが奉仕事業として実施し、メンバー
家族、社員、地域住民に波及させることが必要との認識がなされた。

青少年関係分科会

代議員 58名 ホスト 4名

1. 「薬物乱用防止教育ゴールド認定講師連絡会設置」の件
*担当館副委員長より現状説明あり、賛成多数で承認された。
2. 「薬物乱用防止啓発活動支援の為の協賛金拠出依頼」の件
1クラブ10,000円以上の協賛拠出をお願いする。
*担当館副委員長より現状説明あり、賛成多数で承認された。
3. 「薬物乱用防止委員会、委員一部留任」の件
*担当館副委員長より現状説明あり、賛成多数で承認された。賛同された。
4. 「薬物乱用防止啓発活動のキャビネット事務局の受付窓口設置」の件
*担当館副委員長より現状説明あり、賛成多数で承認された。
5. シンポジウム・テーマ 「YE活動の実態及び改善について」
*担当三宅副委員長より現状説明あり、賛同された。
6. シンポジウム・テーマ 「ライオンズクエスト活動の実態と改善について」

福祉関係分科会

代議員 59名 ホスト 1名

1. シンポジウム・テーマ 「献眼登録と登録意思の確認について」
*担当委員会戸田委員長より説明、献眼登録について厳しい現状、本人の意思がなかなか反映できない、クラブに於いてドナー登録とカード登録確認が出来るよう協力を
お願いしたい。
2. シンポジウム・テーマ 「東京都障害者スポーツ大会について」
*担当小堀副委員長より詳細説明、去年のビデオ放映、今期5月29日・30日開催への各クラブの参加要請がありました。
3. シンポジウム・テーマ 「骨髄移植推進について」
*担当佐々木副委員長より現状説明、一人でも多くの登録をお願いしたい、各クラブの記念事業、例会等でとりあげてほしい。
4. シンポジウム・テーマ 「癌撲滅への啓蒙活動について」
*担当山口副委員長より現状説明、今後のライオンズの支援依頼が討議された。

2009～2010年度
330複合地区第56回年次大会代議員会各分科会報告書

日 時 : 2010年5月15日(土)10:30～14:15
会 場 : 東京プリンスホテル
大会議長 : ガバナー協議会議長 石井征二
代議員数 : 982名

- 1.代議員会各分科会議案に対する決議結果、シンポジウムについての報告は下記の通り。
- 2.各分科会の全ての決議は、代議員総会に於いて各分科会決議通り可決承認された。

分科会決議・報告(各分科会報告書通り記載)

※各ライオンの役職は分科会での役職

(A)組織合理化・日本ライオンズ連絡事務所検討、政策・長期計画、会則・会員分科会

議案1.複合地区会則改正に関する件

(ガバナー協議会議長提案)

〔説明〕

昨年度、8複合地区が一致した共通議案として複合地区会則の改正を予定した各規定の内、当地区のみ提案を撤回して審議をしなかった議案(第5条、第9条、第10条、第12条)について改めて審議するとともに、国際理事会が定める複合地区会則・地区会則の標準版の規定中、昨年改訂された部分を8複合地区で共通議案とすることが合意されたことにより、別紙の改正案を提出する。

〔決議〕 本橋光一郎委員により改正の趣旨説明が行われた後、宇田川委員長より質問、意見を求めた上、議決を求めた結果、明らかに出席代議員の2/3以上の賛成によって、本議案は原案通り可決承認された。

〈シンポジウム〉

1.ライオンズクラブに求められる組織合理化について

(ガバナー協議会議長提案)

〔報告〕 坂 正光委員により、日本ライオンズ連絡事務所を中心として別紙資料(日本ライオンズ連絡事務規程、同管理委員会規定の比較案)に基づく基調報告がなされた後、問題の所在並びに他の複合地区との認識の差等に関して、活発な質疑、意見交換がなされた。

〈シンポジウム〉

2.国際協会の政策と複合地区の活動について

(ガバナー協議会議長提案)

〔報告〕 櫻井慧子副委員長より、今期委員会で検討をした事項として会員減少に対する対応、準地区(特にC地区)の事務局固定化、今後の政策協議と委員会活動の報告がなされた。

1. 会員増強を図る国際プログラム「家族会員制度」の運用について

(ガバナー協議会議長提案)

- [報告] A・B・C各地区制度内容がばらばらであるので家族会員制度のひな形が出来れば。
- 実際に動いてみると、色々な問題が出てくる。複合地区でとり上げるべきである。
 - A地区では、サラリーマンでも入れるクラブを立ち上げた。要は、家族会員制度については、お年寄りの方が反対される事が多い。国際プログラムであるので積極的に取り上げるべきである。若い方は何のわだかまりはないのである。
 - 家族会員は奥さんだけでなく、息子さんでもお孫さんでも良いのである。
 - 家族会員制度は出席代議員の1/5のメンバーのクラブが導入されている。
 - 会長の考え方で変わるので、理解いただけない方にはていねいに説明すればわかっていただける。

〈シンポジウム〉

2. 複合地区委員会作成の各種テキスト・パンフレット・参考書類等の活用について

(ガバナー協議会議長提案)

- [報告] ○ 毎年作成しているテキスト等が生かされていない。
- 牧田副委員長からガバナー協議会に申し入れたい。
 - ・ ホームページに載せてもらいたい。
 - ・ 複合地区役員を準地区で生かしてもらいたい。
 - ・ 複合地区委員会は予算がないので本部にかかる予算はお願いする。
 - メンバーでない一般の方に定期的に配信してほしい。

〈シンポジウム〉

3. 複合地区エクステンション委員会のあり方について

(ガバナー協議会議長提案)

- [報告] ○ C地区では2クラブエクステンション
エクステンションは引き継ぎがむずかしい。2年、3年になるので委員長の後は副委員長が引き継いで行く事がよい。
- B地区では1クラブエクステンション
次の芽は出ているので次につなげていきたい。
- A地区では今期0であるが、次の期に期待出来る形がある。
11クラブをエクステンションした会員からの説明で、エクステンションと会員増強は車の両輪である。次の世代を考えて情熱をそそいで行く必要がある。
そうすれば必ず達成出来る。

1.ライオンズクラブ運営におけるITの具体的活用方法について

(ガバナー協議会議長提案)

〔報告〕 ITの活用

- 1 マンスリーレポートの報告について
(集計システム、時間、人員、通信費の節約)
- 2 新しいシステム
I-JAPANにより自治体からの発信が行われる。
(医療、教育分野等)との連携ができる。
- 3 地区ークラブーメンバー
組織との情報を共有することができる。
- 4 今後の課題
奉仕活動 → 内容の情報発信
災害情報を知る → 活動にむすびつける
- 5 活動の現状
 - 1.ウエビナー (自宅でセミナーが受講できる)
 - 2.ライオンSNS (登録者同志の情報交換)
 - 3.ツイッターの活用(各種ご案内等)

上記の様なことについて討議を致しました。

〈シンポジウム〉

2.LCIFの積極的な活用促進について

(ガバナー協議会議長提案)

〔報告〕 全体として交付金の活用についての討議がされた。

- 1 拠出金について説明及報告
330複合(6千万円也) 全国(6億円)
- 2 交付金の利用についての実情を330-A地区瀧川ライオンより発表された。
- 3 申請について(瀧川ライオンより詳細の説明がされた)
申請の時期
10月、3月、6月の年3回である。
尚、60日前迄に申請をする。
種類 - 人道的であること - 報告書が必要
駄目な例(事後、短期的な事業、少人数の受益、主たる目的のためでない事業)

今後の活動について(上記の内容について)
積極的にセミナー等の開催が望ましい。

(D) 青少年育成・ライオンズクエスト、薬物乱用防止、YE、レオ・ライオネス・女性参加分科会
〈シンポジウム〉

1. これからのライオンズクエスト活動について

(ガバナー協議会議長提案)

〔報告〕 ライオンズクエストを理解していただく為、現状報告に沿った貴重な意見の交換がなされた。

〈シンポジウム〉

2. 薬物乱用防止活動における4省庁の連携及び、警察庁公式依頼による、各クラブ地域小中高への薬物乱用防止認定講師派遣増加に対応する方法について

(ガバナー協議会議長提案)

〔報告〕 基調説明があり貴重な討議がなされ、意見交換がなされた。

〈シンポジウム〉

3. YE事業の21世紀における意義と、活動の活性化について

(ガバナー協議会議長提案)

〔報告〕 YE事業の現状報告、詳細な説明があり、熱心な討議がなされた。

〈シンポジウム〉

4. 女性会員の増強と女性会員が活躍しやすい環境の醸成について

(ガバナー協議会議長提案)

〔報告〕 レオ・ライオネス・女性参加の理解をいただく現状説明があり、貴重な討議がなされた。

(E) 献眼・献腎、献血・骨髄移植、環境保全・社会福祉、緊急援助分科会

〈シンポジウム〉

1. 角膜移植数増加のための具体的施策について

(ガバナー協議会議長提案)

- 〔報告〕
- 1 戸田委員より委員会での集約意見として発表された。
 - 2 献眼実施に直結するために、登録者本人の明確な意思表示を遺族に残しておく手段が大事である。
 - 再登録を積極的に行う。
 - 医療機関の連絡先を明示しておく。
 - 短時間に行うべき作業を明確に指示できるガイドが必要である。
 - 3 質疑応答
 - 角膜移植について。

〈シンポジウム〉

2. 献血・骨髄移植推進における他団体との連携について

(ガバナー協議会議長提案)

- [報告] 1 佐々木委員より説明、報告。
2 骨髄移植推進財団運営へのご協力。
・ボランティア・ベンダーのご協力依頼。
3 献血会場においてドナー登録を実施するなど、日赤などとも連携する。
4 単一クラブ活動の参考に次の報告があった。
・骨髄バンクの現状と実績について
・課題について
・これまでのライオンズクラブの活動報告

〈シンポジウム〉

3. 330複合地区は「環境憲章」に基づき、地球温暖化防止環境保全活動について、{テーマ:「森の国日本へ」}(キーワード:「山・川・海」)(スローガン:「21世紀のライオンズクラブメンバーは地球を救う騎士となれ」)に定め、長期重点奉仕事業とする方針について

(ガバナー協議会議長提案)

[説明]

環境については長期にわたり対応すべき事は周知のとおりです。

330複合地区から提唱され、全日本8複合地区において同文の「環境憲章」がそれぞれの年次大会で採択された今こそ、テーマ「森の国日本へ」、キーワード「山・川・海」、スローガン「21世紀のライオンズクラブメンバーは地球を救う騎士となれ」と定め、各準地区、各クラブが柔軟に中・長期的に環境の奉仕活動に取り組む為に、他の複合地区に先駆け方向を指し示す必要がある。

[報告] 当テーマについて、シンポジウム形式としてではなく、議案として取り扱っていただくように、次年度に申し送ります。

〈シンポジウム〉

4. 緊急災害発生時の具体的対応について

(ガバナー協議会議長提案)

- [報告] 1 緊急援助実施要綱を改定したことを報告。
2 委員会活動はガバナー協議会の指示に基づく。
3 ハイチ地震義捐金については、委員会決議で50万円の拠出をお願いし、ガバナー協議会において認められて基金より金50万円拠出した。

(F) 国際関係・モンゴル支援(国際協調・モンゴル支援)、国際理事推進、国際大会分科会
<シンポジウム>

1. これからのモンゴル支援活動について

(ガバナー協議会議長提案)

[報告] ○阿戸健次副委員長より、モンゴルライオンズの誕生と経緯について説明あり
(現存7クラブに至る)

- ① 国内支援活動の報告あり。
モンゴル国の文化と伝統を伝える行事の開催し好評であった。過去にモンゴル大使より感謝状受領している。
- ② 海外支援活動の報告あり。

○中野 了モンゴルコーディネーターより、モンゴルの現状報告あり、330全体での支援のお願いがあった。

○意見としてモンゴルの経済状況にあったライオンズクラブの支援を考えていくべき。

○総括: 今後も330全体で支援して行く事となった。

<シンポジウム>

2. 複合地区としての国際理事支援のあり方について

(ガバナー協議会議長提案)

[報告] ○菅原雅雄顧問より、国際理事の説明あり。
日本選出の国際理事選出の重要性と国際大会での代議員権の行使の大切さの説明あり。

<シンポジウム>

3. 国際大会への参加推進について

(ガバナー協議会議長提案)

[報告] ○桜井孝一副委員長より、国際大会参加の重要性について、菅原顧問に続いて説明あり。

- ① 現在の大会登録状況の説明あり。
- ② 国際大会クラブ割当て代議員数の説明あり。
クラブの代議員権の行使を放棄しないよう考えて欲しいとお願いあり。
また、クラブで知恵を出して代議員権の行使をお願いしたい(クラブで予算化)
- ③ 国際理事支援、全日本におけるホストMDの役割を果たす協力要請あり。

意見: ・大会日程についてタイトにして欲しいとの意見あり。

- ・大会を盛り上げるムード作りや、夫婦での参加の必要性など様々な意見あり。
- ・参加クラブの表彰等検討すべき。

総括: 国際大会に参加し、代議員権を行使する事を各クラブに伝え、多くの人が参加して日本の意志を伝えて行必要あり。

(A) 330複合地区関係

①2008～2009年度330複合地区会計報告

〔決議〕 原案のとおり承認されました。

②2009～2010年度上半期330複合地区会計報告

〔決議〕 原案のとおり承認されました。

(B) ライオン誌日本語版事務所関係

①2008～2009年度ライオン誌日本語版事務所会計報告

〔決議〕 原案のとおり承認されました。

②2009～2010年度上半期ライオン誌日本語版事務所会計報告

〔決議〕 原案のとおり承認されました。

(C) 日本ライオンズ連絡事務所関係

①2006～2007年度日本ライオンズ連絡事務所会計報告

〔決議〕 花田 亮副委員長より経過説明があり、原案のとおり承認されました。

②2007～2008年度日本ライオンズ連絡事務所会計報告

〔決議〕 花田 亮副委員長より経過説明があり、原案のとおり承認されました。

③2008～2009年度日本ライオンズ連絡事務所会計報告

〔決議〕 花田 亮副委員長より経過説明があり、原案のとおり承認されました。

④2009～2010年度上半期日本ライオンズ連絡事務所会計報告

〔決議〕 花田 亮副委員長より経過説明があり、原案のとおり承認されました。